

令和4年(2022年)
4月23日(土)

入場無料

～5月22日(日)

休館日 月曜日
開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

柏崎市立博物館 特別展示室
〒945-0841
新潟県柏崎市緑町8-35 (赤坂山公園内)
電話 0257-22-0567

◆◇関連イベント◇◇ 学芸員による展示解説

①4月30日(土) ②5月14日(土)

時間：各回とも午後3時から30分程度

定員：各回とも10名程度(先着順)

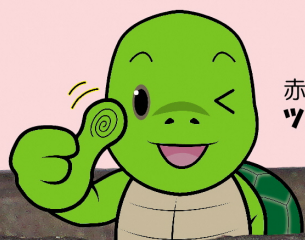
料金：無料

申込み：①は4月28日(木)、②は5月12日(木)まで
当館へ電話でお申し込みください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・変更する場合があります。最新情報は当館のホームページをご覧ください。



企画展ホームページ



赤坂山の**カメ**くんが見学の
ツボを解説します。

甕かめと壺つぼ

柏崎の

— 使われ方と

歴史をたどる —

令和四年度(二〇二二年度) 柏崎市立博物館 春季企画展

珠洲焼 甕
(中世／南下地区
／中村文庫)



①

- ①大久保焼 花器（近代）
 - ②石見焼 甕（近代）
 - ③珠洲焼 甕（中世／北条城跡〔北条〕／中村文庫）
 - ④越前焼 壺（中世／荒浜地区／当館寄託）
 - ⑤須恵器 甕（古代／下ヶ久保A遺跡〔軽井川〕）
 - ⑥須恵器 横瓶（古代／荒浜沖／中村文庫）
- 写真の大きさは、縮尺が異なります。



②



③



④



⑥



⑤

春季企画展 柏崎の甕と壺 — 使われ方と歴史をたどる —

甕・壺といった容器は、花器などの調度品にも用いられているように、私たちの身近なところにもあります。現代では金属製・ガラス製・プラスチック製の容器類が目立ちますが、以前には生活文化のいろいろな場面で甕・壺が使われていました。そして、これらは多くの遺跡から発見されていることから、長い歴史を持つものであることが知られています。

本展では、当館で収集された資料や市内の遺跡から出土した資料などから、古代～近代の甕・壺を中心に紹介し、その使われ方や歴史を解説します。

柏崎市立博物館

〒945-0841
新潟県柏崎市緑町8-35
(TEL) 0257-22-0567
(FAX) 0257-22-0568
k-museum@city.kashiwazaki.lg.jp

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日
入場料 無料（常設展示は有料）



交通案内

- 《車》 柏崎駅から約10分
- 《鉄道》 JR 信越本線・越後線
柏崎駅下車 徒歩約20分
- 《バス》 越後交通
柏崎駅南口より15分
赤坂山公園行 終点下車



マスク着用



消毒・手洗い



十分な間隔